

VII. 教育研究等環境

1. 現状の説明

(1) 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。

2004（平成 16）年以降の教育研究等環境の整備については、2007（平成 19）年 4 月のポートアイランドキャンパス開設を含め「神戸学院大学移転基本構想」（資料 248）をベースに進めてきた。現在「神戸学院大学移転基本構想」をもとにした整備が一段落し、新キャンパス開設後の財政的な見通しも明らかになったため、2010（平成 22）年 2 月、総合企画会議のもとに将来計画検討プロジェクト（資料 249）を設置し、新たな中長期計画の立案を進めている。

年度ごとの整備計画については、必要に応じて総合企画会議のもとにプロジェクトを設置し原案を作成した上で、総合企画会議、常任理事会の議を経て決定している。

なお、本学では、建学の精神である「真理愛好・個性尊重」に基づき、障がいを持った学生も他の学生との自由な交流・切磋琢磨を通して、その個性を開花できる環境整備を常に念頭において、環境整備に努めている。

(2) 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。

2007（平成 19）年 4 月のポートアイランドキャンパス開設により、校地面積（大学基礎データ 表 5）は従来約 1.6 倍に、校舎面積（資料 250）は約 1.5 倍に増え、校舎面積は設置基準上必要面積の 5 倍を超えている。ポートアイランドキャンパスは開設間もないため、すべての教育研究設備が新しく、C 号館については、設計の段階から薬学部 6 年制カリキュラムに対応した教育研究環境を整備した。このキャンパスの特色として都市共生型エコキャンパスの実現をテーマに建築しており、2009（平成 21）年には第 24 回空気調和・衛生工学会振興賞技術振興賞（資料 251）を受賞している。

有瀬キャンパスについては、2007（平成 19）年に、ポートアイランドキャンパス開設後の課外活動環境の充実を目的として、有瀬キャンパス内及び第 4（樫谷校地）、第 5（池上校地）、第 6（南別府校地）グラウンドの課外活動施設ナイター整備を行った。また、2009（平成 21）年には、「有瀬キャンパス再整備検討プロジェクト」において提出された答申書（資料 252）に基づき将来構想を含めた「緑とバリアフリーのキャンパス構想」を視野に入れ、耐震補強・バリアフリー工事等を実施し学生の利便性を図るため事務室等の再配置を行った。

さらに、2009（平成 21）年度には全キャンパスに地震通報（速報）システム（資料 253）・AED 装置を配備した。

(3) 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。

- a. 図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、2010（平成 22）年 5 月 1 日現在の蔵書冊数は図書 1,010,487 冊、視聴覚資料 28,009 点、合計 1,038,496 冊（資料 254）である。この冊数は「平成 21 年度学術情報基盤実態調査」の私立大学同クラス平均（以下「同クラス大学平均」という）664,858 冊（資

料 12 30 ページ) の約 1.5 倍であり、平均水準を大きく上回っている。

学術雑誌は内国書と外国書を合わせて 7,335 種類(資料 254)を所蔵している。また、2010(平成 22)年 1 月から冊子体学術雑誌 281 種類(資料 254)を電子ジャーナルへ移行した。

データベースとして日経テレコン 21、聞蔵 II ビジュアル、Knowledge Worker、Japan knowledge、NII 論文ナビゲーター(CiNii)、医中誌 Web、雑誌記事索引集成データベース等を導入している。

- b. 図書館の規模、司書の資格等の専門能力を有する職員の配置、開館時間・閲覧室・情報検索設備などの利用環境については、現在、図書館は有瀬キャンパス図書館、ポートアイランドキャンパス図書館、実務法学研究科(法科大学院)図書館の 3 館に分かれている。

3 館合わせた延べ面積および収納可能冊数は 16,911.07 m²、1,629,175 冊(資料 255 p.4、p.6、資料 256)である。同クラス大学平均の 8,935 m²、789,621 冊(資料 257 p.28-29)に比べて、面積、収納可能冊数ともに約 2 倍であり、平均水準を大きく上回っている。

3 館合わせた司書の人数は 43 人であり、同クラス大学平均 12.5 人(資料 257 p.6)の約 3.4 倍で、平均水準を大きく上回っている。

各図書館の開館時間(授業期間)は有瀬キャンパス図書館・ポートアイランドキャンパス図書館が 9:00-21:00(月-土)、実務法学研究科(法科大学院)図書館が 8:00-23:00(月-土)、9:00-21:00(日、祝)である。

3 館合わせた閲覧座席数・情報検索設備(検索端末台数、情報コンセント口数)は 1,900 席(資料 258)、60 台、109 口であり、閲覧座席数については同クラス大学平均 976.4 席(資料 257 p.29)のほぼ 2 倍である。

地域連携の一環として地域住民への図書館サービスを行っている。2009(平成 21)年度の登録者数は入館パス登録者(閲覧のみ可能)が 275 人、学外登録利用者(閲覧・貸出可能)が 107 人になっている(資料 255 p.26-27)。

- c. 国内外の教育研究施設との学術情報相互提供については、1994(平成 6)年度から国立情報学研究所の提供する GeNii の事業の一つである目録所在情報サービス(Nacsis-CAT、Nacsis-ILL)に加入している。これの利用により本学図書館システムからインターネットを介して図書、学術雑誌の本学所蔵情報の公開を行い、他教育研究施設との相互利用(文献複写・貸借)を活発に行っている。(資料 255 p.20-21) また、「ポーアイ 4 大学による連携事業」に参加し、図書館の相互利用(入館・閲覧・貸出)のサービスを 2007(平成 19)年 10 月から開始した。

- (4) 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。

本学では教育研究等を支援する環境・条件の整備のため、競争的資金、研究助成金等の獲得から管理全般を支援すると共に、研究成果より得られた知的財産の権利化・活用全般を支援するための研究支援グループおよび情報環境の構築・管理・運営を統括し、教育研究を支援する情報処理センターを設置している。

また、教育研究の拠点として、有瀬キャンパス図書館・ポートアイランドキャン

ンパス図書館・実務法学研究科（法科大学院）図書館（3館合わせて蔵書冊数103万8千冊、学術雑誌7,355誌）を設置するとともに、教具・備品も5万7千点を上回り、施設・設備の整備に努めている。

一方、教育支援体制として、ティーチング・アシスタント（TA）制度を、研究支援体制として、本学の共同研究機構にポストドクトラルフェロー（PD）とリサーチアシスタント（RA）の制度を設けている。

さらに、教員が研究に専念することができる時間は十分に確保できるように配慮している。「個人担当教育・研究費 <助教以上>文系 620千円、理系 446千円 <実験助手>理系 184千円 * 2010（平成22）年度予算総額は185,024千円 学部専任教員<助教・実務家専任教員を除く>の持ちコマ数は、4コマを基準としている」

(5) 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。

本学では、生命の尊重及び個人の尊厳を保持すると共に、ヒトを対象として実施する全ての研究・教育遂行上の調査・実験について、人権及び倫理的配慮の下に、研究目的、研究計画等の事前審査を行うことを目的として、「生命倫理・安全性委員会規則」（資料79）及び「ヒトを対象とする研究等倫理委員会規程」（資料79）を制定している。また、大学の知的資産を管理し、社会に活用すると共に、本学の知的財産活動を行う指針として、「知的財産ポリシー」（資料79）及び「利益相反マネジメントポリシー」（資料79）を制定している。さらに、研究倫理を遵守するために必要な措置として、「外部教育・研究資金の管理・使用に関する行動規範」（資料259）、「神戸学院大学における競争的資金等の不正防止計画」（資料259）、「公正研究委員会規程」（資料79）及び「競争的資金等取扱規程」（資料79）を制定している。

2. 点検・評価

(1) 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。

①効果が上がっている事項

a. 神戸学院大学移転基本構想をベースに計画的にキャンパス整備を進めてきた（資料260）。

b. 教育研究等の整備に関する方針については、総合企画会議のもとに設置されるプロジェクトにおいて議論され、プロジェクトの中間答申等において、全教職員が意見を述べることができる（資料261 p.32-45、資料262）とともに、最終答申についても全教職員に公表され情報を共有している（資料252、資料261）。

②改善すべき事項

低金利のため第3号基本金の運用収入による教育研究環境の整備充実は、当面、困難であるため新たな寄附金制度を設けるなどして、寄附金を活用した教育研究環境の整備を活発化する必要がある。

(2) 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。

①効果が上がっている事項

ポートアイランドキャンパス開設により、教育・研究施設が飛躍的に充実するとともに、学生が休息その他に利用するためのアメニティー施設や運動場施設の充実（人工芝サッカーグラウンド及びテニスコート3面増設）によりキャンパスの活性化が図れた（資料263）。

- a. ポートアイランドキャンパス3校舎の新築に伴い、有瀬キャンパスでオフィスアワー室の整備・心理臨床カウンセリングセンターの整備・ハラスメント相談室の整備・教育開発センターの整備を行い効果が上がった。
- b. 耐震化に併せて老朽化建物のリニューアルを効率的、経済的に整備し安全性が確保できた。

②改善すべき事項

- a. 教育研究に供していない遊休地の資産活用。
- b. 有瀬キャンパス遊休施設の効率的活用。
- c. ポートアイランドキャンパスの課外活動施設の充実。
- d. 高低差のある有瀬キャンパスにおける各建物間の段差解消および車椅子が利用できるバリアフリー環境のいっそうの整備。

(3) 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。

①効果が上がっている事項

図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、電子ジャーナルおよびデータベースの導入により、キャンパスのどこからでも、学術雑誌やデータベースを利用することができるようになり、利便性が大きく向上した。また、電子ジャーナル（資料264）のパッケージ契約により利用可能雑誌タイトルも大幅に増えて4,447タイトルとなっている。

②改善すべき事項

図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、電子ジャーナルを有効利用するために必須である学術文献データベース（特に洋雑誌）の導入がまだ不十分であるといえるかもしれない。また、学術文献データベースの検索結果から簡単・高速に雑誌文献本文へ移動するサービスを導入する必要がある。

(4) 教育研究等を支援する環境や条件は適切に整備されているか。

①効果が上がっている事項

研究費としては、科学研究費補助金・厚生労働科学研究費補助金以外にも競争的資金〔科学技術振興機構（JST）2件、新産業創造研究機構（NIRO）1件、消防庁1件〕が獲得できるようになった。

また、2009（平成21）年度は法人（大学）帰属の職務発明3件の特許出願（本学初）を行い、内1件は、特許登録されると共に、国際出願も行っている。

さらに、ティーチング・アシスタント（TA）制度、ポストドクトラルフェロー（PD）制度とリサーチアシスタント制度の導入により、教育・研究の成果が上

っている。

設備関係決算額〔2008（平成20）年度〕は、教育研究用機器備品費2億7千万円、図書費9千万円など充実している。

②改善すべき事項

競争的資金等外部資金の獲得を促進するために外部資金に関する情報を最適なタイミングで提供することが必要であり、また、知的財産の権利化（特許化）の面では、一層これを促進する必要がある。

(5) 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。

①効果が上がっている事項

研究倫理に係るポリシー、規定等（資料79、資料265 生命倫理・安全性委員会規則、ヒトを対象とする研究等倫理委員会規程、知的財産ポリシー、利益相反マネジメントポリシー、外部教育・研究資金の管理・使用に関する行動規範、神戸学院大学における競争的資金等の不正防止計画、公正研究委員会規程、競争的資金等取扱規程）を制定し、研究倫理を遵守すると共に外部競争的資金等の管理体制を整備し、不正防止に努めている。また、研究支援センター専用のホームページ（資料265）を設けて関係ポリシー、規定等の周知徹底を図っている。

さらに、新入教職員に関係ポリシー、規定等を理解していただけるよう、オリエンテーションの機会を活用して、当該教職員に直接説明している。

②改善すべき事項

研究倫理に係るポリシー、規定等については、制定後も関係ポリシー、規定等が実態と乖離していないかどうかの検証を行う。また、全ての研究分野の研究者が守るべき倫理的・道義的な規範が制定されていない。

3. 将来に向けた発展方策

(1) 教育研究等環境の整備に関する方針を明確に定めているか。

①効果が上がっている事項

将来計画検討プロジェクトの最終答申が2011(平成23)年1月末をめどに、総合企画会議に対して提出される予定である。最終答申が総合企画会議において了承されしだい、必要な学内手続きを経て、示された中長期計画に従ってキャンパス整備計画を遂行する。また、必要な第2号基本金の積立を開始する。

②改善すべき事項

2012(平成24)年に法人創立100周年、2016(平成28)年には大学創立50周年を迎えるため、これを機に記念募金を実施し、教育研究環境の整備に必要な資金を集める。

(2) 十分な校地・校舎および施設・設備を整備しているか。

①効果が上がっている事項

前述の中長期計画に従ってキャンパス整備計画を遂行する。

②改善すべき事項

- a. 林山校地（元短期大学跡地）については、資産売却や体育施設としての活用等を検討している。
- b. 学生が気軽に利用できるスペースを整備する。また学生生活を豊かにするため新たな店舗等を誘致する。
- c. ポートアイランドキャンパスにおける体育館建設を将来計画に入れる。
- d. 総合リハビリテーション学部学生・教員の協力を得ながら（学生にとっては、よい教育の場ともなる）、年次計画でバリアフリー環境の充実を推進する。

(3) 図書館、学術情報サービスは十分に機能しているか。

①効果が上がっている事項

図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、さらに冊子体から電子ジャーナルへの移行を進める。

②改善すべき事項

図書、学術雑誌、電子情報等の整備状況とその適切性については、学術文献データベース（特に洋雑誌）の導入の検討を行い、さらに学術文献データベースの検索結果が本学契約の電子ジャーナルに含まれている文献ならばダイレクトに論本文本文へジャンプできる「リンク・リゾルバ」機能の導入の検討を行う。

(4) 教育研究等と支援する環境や条件は適切に整備されているか。

①効果が上がっている事項

本学では、『神戸学院大学競争的資金等取扱について』のホームページ（資料259）を設けて、競争的資金、産学官連携活動に係る関係ポリシー、規定等について、構成員全員に対して関係情報の共有化を図ってきた。今後、社会に対してホームページを更に充実させ情報開示を推進し、さらに本学構成員の競争的資金、産学官連携活動等に対する理解を深めていく。

競争的資金に係る応募説明会に関係教員のみならず関係職員が出席することにより、当該情報の共有化を図り、当該競争的資金の効率的な獲得と増加を図っていく。

また、研究者への知的財産権に関する啓発活動の充実と研究者へのリエゾン活動（発明の発掘）を強化し、一層の権利取得と権利活用の促進を図り、知的創造サイクルの円滑な運用を行う。

②改善すべき事項

本学と神戸大学のアライアンスを通じて、科学技術振興機構（JST）、TLO ひょうご等と一層の関係を強化していくことで、競争的資金の一層の獲得を目指す。

また、知的財産管理の独立組織を設立（発明の発掘から権利化、活用〈ライセンス、産学連携〉までをトータルで迅速判断・管理できるように大学トップ直轄の組織運営）し、知財管理の強化と産学連携を促進する。

(5) 研究倫理を遵守するために必要な措置をとっているか。

①効果が上がっている事項

今後は全学対象の説明会のみならず、各学部の特殊事情をふまえた説明会を企画開催する。

②改善すべき事項

研究倫理に係るポリシー、規定等については、実態と乖離している場合は実態に即したポリシー、規定等に見直しを図る。また、全ての研究分野の研究者が守るべき倫理的・道義的な規範を定める「神戸学院大学研究倫理綱領」を作成する。

4. 根拠資料

- 資料 79 - 「神戸学院大学生命倫理・安全性委員会規則」『各種規程等一覧(抜粋)』に添付』
- 資料 79 - 「神戸学院大学ヒトを対象とする研究等倫理委員会規程」『各種規程等一覧(抜粋)に添付』
- 資料 79 - 「神戸学院大学知的財産ポリシー」『各種規程等一覧(抜粋)に添付』
- 資料 79 - 「神戸学院大学利益相反マネジメントポリシー」『各種規程等一覧(抜粋)に添付』
- 資料 79 - 「外部教育・研究資金の管理・使用に関する行動規範」『各種規程等一覧(抜粋)に添付』
- 資料 79 - 「神戸学院大学公正研究委員会規程」『各種規程等一覧(抜粋)に添付』
- 資料 79 - 「神戸学院大学競争的資金等取扱規程」『各種規程等一覧(抜粋)に添付』
- 資料 248 - 「神戸学院大学移転基本構想」
- 資料 249 - 「将来計画検討プロジェクトの設置について」
- 資料 250 - 「主要施設の概況」『大学データ集(表 27)』
- 資料 251 - 「第 24 回空気調和・衛生工学会振興賞技術振興賞 受賞資料」
- 資料 252 - 「有瀬キャンパス再整備検討プロジェクト」
- 資料 253 - 「地震通報(速報)システム」
- 資料 254 - 「図書、資料の所蔵数及び受け入れ状況」『大学データ集(表 14)』
- 資料 255 - 「2010 年度図書館概要」(<http://opac2.kobegakuin.ac.jp/ilis/>)
- 資料 256 - 「大学・短期大学・高専図書館調査票 2010/日本図書館協会(抜粋)」
- 資料 257 - 「平成 21 年度学術情報基盤実態調査結果報告/文部科学省(抜粋)」
- 資料 258 - 「学生閲覧室等」『大学データ集(表 16)』
- 資料 259 - 「大学公式ホームページ 研究支援センターのページ 競争的資金等取扱についての取り組み」
(<http://www.kobegakuin.ac.jp/~research/torikumi.html>)
- 資料 260 - 「キャンパス環境整備」
- 資料 261 - 「将来計画検討プロジェクト最終答申」
- 資料 262 - 「有瀬キャンパス再整備検討プロジェクト中間答申に対する意見等について」
- 資料 263 - 「校地・校舎・施設整備」
- 資料 264 - 「図書館ホームページ」(<http://opac2.kobegakuin.ac.jp/ilis/>)
- 資料 265 - 「研究支援センターホームページ」

(<http://www.kobegakuin.ac.jp/~research/>)